

第60回通常総会を開催

(社)日本建設機械化協会中国支部は、第60回通常総会を5月19日ホテルセンチュリー21広島において本部より松隈専務理事、施工技術総合研究所から見波所長を迎え、支部団体会員83社の参加のもとに開催しました。

冒頭、河原支部長が「経済状態の不安定な状況の中で、3月11日に東日本においてM9.0の大地震と未曾有の大津波が発生した。多数の犠牲者が出、2ヶ月を経過した今でもまだ大勢の行方不明の方がおられる。さらに原子力発電所も甚大な被害を被る等異常な事態が続いているが、一刻も早い復旧を願っている。

新年度の厳しい公共事業関係予算も大半が震災復興に向けられることは必至であり、公共事業の抑制と合わせ業界等への影響が懸念されるなかで、今後の支部活動の展開として「ICT」を活用した「情報化施工」への積極的な取り組みや、「新技術の活用・促進」に向けた事業活動等を計画的に進めていくので会員のご協力をお願いしたい。」と挨拶しました。

本部からは「公益法人改革を踏まえつつ、最近の社会的な背景を踏まえて、環境保全、安全・安心、品質確保・人材育成、建設生産システムの変革の4項目を重点項目として事業を推進していく」との挨拶があり、研究所からは特に「情報化施工」に関連した研究所での23年度の事業目標が紹介され、「情報化施工への取り組み」の重要性が強調されました。

続いて、平成22年度の事業報告・決算報告、平成23年度事業計画(案)・同収支予算(案)の審議が行われ、いずれも原案通り承認、可決されました。

総会に引き続き行われた、平成23年度の「建設の機械化施工優良技術者表彰」では、会員各社から推薦された3部門5名の「優良技術者」が紹介され、河原支部長より表彰状を授与されると共に会場からも盛大な拍手で祝福されました。

また、国土交通省中国地方整備局企画部施工企画課長 津村 信昌氏が、「東日本大震災」への中国地方整備局の災害対策支援である「緊急災害対策派遣隊・TEC・FORCE」の活動状況を報告されました。

記念講演会では、(公)土木学会会長 阪田 憲次氏による「東日本大震災について」と題した大変興味深い講演があり、盛会のうちに終了いたしました。

優良技術者表彰受賞者及び受賞者の喜びの声を紹介します。



部 門	氏 名	会 社 名	部 門	氏 名	会 社 名
運転・整備 部 門	スガハラ ミノル 菅原 稔	西日本コバルコ建機(株)	管 理 部 門	カノウ キヨシ 加納 清	鹿島建設(株)中国支店
	アラセ ノリタカ 荒瀬 典貴	日立建機(株)中国支店	技術開発部門	クスダ タカシ 楠田 隆志	鹿島道路(株)中四国支店
	ナガサキ チカラ 永崎 力	日本道路(株)中国支店			

(受賞者の喜びの声)

「この度はこのような賞を頂き有り難うございました。今後この賞に恥じぬ様、運転整備に従事し、後輩の育成に努めて行く所存です。また、震災で被災された皆様に対し(社)日本建設機械化協会を初め皆様の力で盛り上げて行きましょう。」

第28回 新技術・新工法発表会の開催報告

○日 時：平成23年 4月19日（火） 13：30～16：50

○場 所：RCC文化センター 701室（広島市中区橋本町 5－11）

○参加者：89名

○発表課題

（アンケート結果）

特に興味があった

発表課題

1）技術発表

①施工企画行政の最近の話題：国土交通省中国地方整備局 企画部

29 %

②加熱アスファルト系表面処理工法（リフレッシュシールMix）：日本道路㈱

50 %

③地盤改良複合杭基礎工法：㈱竹中土木

29 %

④OPT ジェット工法：ライト工業㈱

15 %

（効率化施工を可能とした新技術の低排泥低変位噴射攪拌工法）

（複数回答）

2）映像発表

①SWO工法（スリップフォームペーパーを活用した鉄網ワンパス工法）：㈱NIPPO

②地下鉄13号線 戸山工区土木工事：西松建設㈱



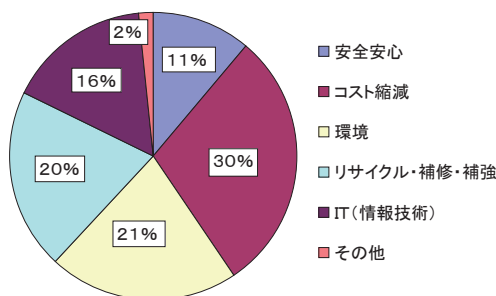
○参加者の声（アンケート）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の発表会の開催に活用させていただきます。

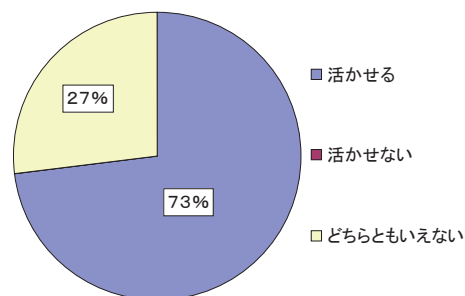
1）今後の発表会のあり方について

- ・発表会に参加することで、共通の問題や課題が共感できる。今後も年に数回程度続けてほしい。
- ・新技術、新工法についての発表課題数を増やしていただきたい。既設構造物の維持補修、環境対策工法等に関する発表課題を増やしてほしい。
- ・発表にあたっては、従来工法との比較、具体的なコストメリット等を分かりやすく説明していただきたい。また、図や写真のみでなく動画が多くあればもっと理解し易い。

2）今後の発表会の内容について



3）今後の業務への活用について



第28回新技術・新工法発表会の開催にあたり、国土交通省中国地方整備局ならびに技術発表をいただきました企業の関係者の方々には、ご協力有り難うございました。

災害情報伝達訓練を実施

〔企画部会・施工技術部会〕

…中国地方整備局所管施設にかかる応急対策業務に関する協定による…

（社）日本建設機械化協会中国支部では5月25日（水）支部事務局に対策本部を設置し、災害時の応急対策業務支援を想定した「情報伝達訓練」を実施しました。

3月11日に発生した「東日本大震災」の状況や復旧・復興に対する緊張度も日増しに高まり、「災害」をより身近に感じる状況下での訓練となりましたが、「協定」に基づく実施体制により参加会員の協力のもと、当初の目的を達成しました。

今回も整備局からの「協力要請」を受け昨年に続いて2度目の「訓練」であり、**機械設備班、災害対策機械班、建設機械班**が参加しました。

以下に今回の実施概要を報告します。



実施日時：平成23年5月25日（水） 9：30～16：00

（被災想定①）

浜田河川国道管内・国道9号、浜田市原井町にて豪雨により大規模地すべりが発生。

道路延長200mが被災。地滑り土塊が堆積し河川をせき止めており、崩壊の危険性あり。至急、土塊撤去の必要あり。同時に作業中の排水も必要。

（応援要請内容）

- 空撮用のラジコンヘリコプター（1基）の調達及び操縦・点検修理班（2名／班×2班）の派遣要請
- 作業中の排水ポンプ車、照明車が故障発生。点検修理班（2名／班×5班）の派遣要請
- 上記の調達・派遣（班編成）の可否と、編成後は所定の基地への到着可能時刻等の報告

（訓練参加会員の声（建設機械班・災害対策機械班））

- ・通常無い機械の要請であったので調達が無理であった。
（今後、災害時にこういった要請が予想されるなら事前把握しておく事も必要ではないか？）
- ・情報伝達連絡票は班長のみでなく全会員に流した方がよりスムーズに進行するのではないか？

（被災想定②）

浜田河川国道管内・高津川（益田市横田）で堤防決壊。内水排除施設故障で床下浸水中。

排水樋門ゲート設備7ヶ所、排水ポンプ場1ヶ所故障。双方とも早急に修理・機能回復が必要。

（応援要請内容）

- ゲート設備点検・修理班（2人／班×2班）、ポンプ設備点検・修理班（2人／班×1班）の派遣要請
- 上記の派遣（班編成）の可否と、編成後は所定の基地への到着可能時刻等の報告

（訓練参加会員の声（機械設備班））

- ・連絡系統の連絡者①の方は、実際に実務を担当している方が望ましいと感じた。
- ・訓練の時期（出水期前）、時間等は概ね良かった。

訓練を通して

- 実際の派遣時に適切に行動出来るか少し不安が残った。年に1回でも訓練を続けた方が望ましい。
- 今回は2回目の訓練ということもあり、全体的にスムーズに進行したと感じた。
- 要請内容及び集合場所への道路情報等が明確で良かった。

「建設技術講習会」を開催

中国支部では去る3月9日（水）広島県民文化センターにおいて「建設技術講習会」を開催しました。

今回の講習会は国土交通本省ならびに中国地方整備局の担当官により、今後において規制強化が予定されている“建設機械の排出ガス規制”に関する話題や、最近の公共工事を取り巻く話題として種々検討がなされている“工事書類の簡素化への取り組み”の他、施工管理・監督・検査業務の合理化を目指した“工事情報共有システム”の改良、改善の状況等の内容で実施しました。

いずれのテーマも今後の公共工事の置かれている社会環境のなかで必要不可欠なものであり、会場では熱心にメモを執る参加者もみられました。

○建設技術講習会

- ・ 日 時 平成23年3月9日（水） 13：30～16：00
- ・ 場 所 広島県民文化センター（広島市中区大手町1－5－3）
- ・ 議 題 ①より排出ガスの少ない建設機械の使用について
②土木工事における業務効率化の取り組み等について
- ・ 参加者 60名



○参加者の意見、感想等（アンケート（提出36名）結果より抜粋）

- ・ 排ガス規制は概ね理解出来たが、エンジンの規格との関連が解りにくかった。
また、実際の建設機械側の話（実態）も聞いてみたい。
- ・ 使用している機械についてオフロード法での確認をしたいと思う。
- ・ 情報共有システムを活用し工事書類の低減が図られれば受注者は非常に助かるが、実際には受注者の負担も増えるのではないかと懸念もある。
- ・ システムの実際の運用方法もできれば紹介して欲しい。

○講義を頂いた国土交通省の担当官の皆様有り難うございました。

新入会員紹介



情報化施工で総合評価方式に対応！

業務効率UP

作業ロス軽減

コスト削減

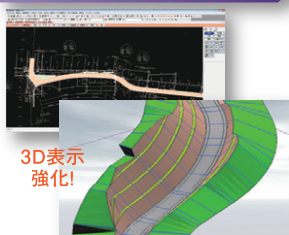
品質向上

「TS出来形管理」に対応した「EX-TREND 武蔵シリーズ」

3次元設計データ作成

TSでの出来形計測

出来形帳票作成



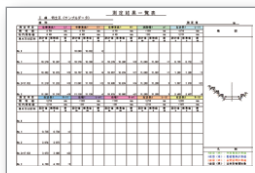
3D表示
強化!

EX-TREND 武蔵
【建設CAD】



計測時間半減!

情報化施工現場端末
【EX-TREND Landcom】



帳票も一発作成!

EX-TREND 武蔵
【出来形管理】

【NETIS 登録製品】

登録番号：KK-100077-A
※技術名称：EX-TREND 武蔵「建設CAD」



CALS 対応土ホシステム「エクストレンド武蔵」

福井コンピュータ株式会社

- 本社: 福井市高木中央1-2501 TEL.0776-53-9200・FAX.0776-53-9201 (営業拠点: 全国36拠点)
- 広島営業所: 広島市南区の場町1-3-6 広島の間ビル2F TEL.082-264-6878・FAX.082-264-6877
- 岡山営業所: 岡山市北区大元上町8-18 TEL.086-246-1091・FAX.086-246-1092
- 山口出張所: 山口市吉敷中東1-2-6 みずほビル2F TEL.083-932-2853・FAX.083-932-2863

- 体験版ダウンロード ●製品情報
- 資料請求 ●お問い合わせは

福井コンピュータ

検索

www.fukuicompu.co.jp

会員紹介コーナー



株式会社 加藤組

KATO
Construction Co., Ltd.

- 本社 〒728-0013 広島県三次市十日市東一丁目8番13号
TEL 0824-63-5117 FAX 0824-63-5100
- URL <http://www.kato-gr.com>
- 設立 1957年4月
- 内容 土木工事、建築工事、舗装工事、水道施設工事
管工事、とび・土工・コンクリート工事、造園工事



工事名: 国道54号三次保守工事
発注者: 中国地方整備局 三次河川国道事務所



工事名: 三次地区土地造成事業(Ⅲ期)土地造成工事
発注者: 広島県

東日本大震災における災害対策用機械の活動状況

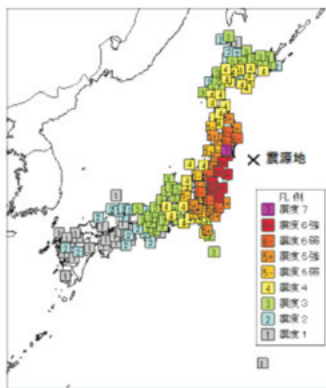
【東北地方太平洋沖地震概要】



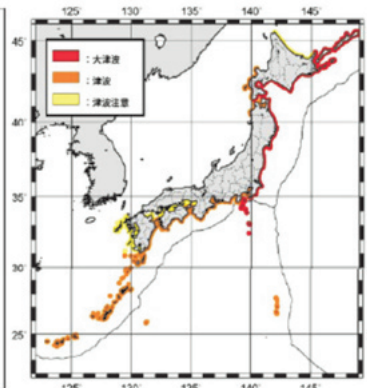
1. 地震概要

- 発生日時:平成23年3月11日(金)14時46分
- 震 源:三陸沖(牡鹿半島の東南東130km付近)深さ約24km
- 規 模:マグニチュード9.0
- 地 震 名:「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」
- 主な震度:震度7 栗原市
震度6強 仙台市、名取市、登米市、大崎市、東松島市、涌谷町他
震度6弱 石巻市、岩沼市、白石市、松島町、大和町、富谷町他
- 大津波情報:青森県日本海沿岸(12日13:50津波注意報に切替、13日17:58に解除)
青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県(12日20:20津波
警報に切替)、13日7:30津波注意報に切替、13日17:58解除

平成23年3月11日14時46分頃の
三陸沖の地震震度分布図



津波警報・注意報の発表状況
(3月11日 15時33分発表)



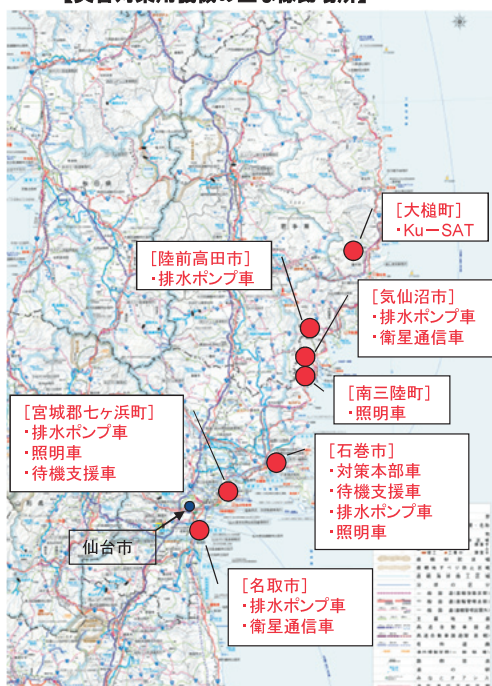
出典:気象庁資料

東北地方整備局PHより

東日本大震災における災害対策用機械の活動状況

「東北地方太平洋沖地震」による津波により、太平洋側の沿岸部で広範囲にわたり浸水被害が発生し、中国地方整備局から平成23年3月12日より災害対策用機械(22台)を東北地方へ派遣し全国の災害対策用機械約200台体制で排水作業等の県・市町村への支援活動を実施しています。

【災害対策用機械の主な稼働場所】



派遣機械一覧

事務所	排水P車	照明車	対策本部車	待機支援車	衛星通信車	KU-SAT	ハブドッカー	計
鳥取	1	1						2
倉吉	1	2	1	1				5
浜田	1							1
岡部	1	1		1				3
岡部					1		1	2
三次	2	1						3
太田川						1		1
山口	1							1
中津	2		1	1				4
計	9	5	2	3	1	1	1	22

仙台空港付近(名取市)における排水作業



照明車による夜間照明 (七ヶ浜町)



TEC-FORCE(機械班)による技術支援

国土交通省コーナー

東日本大震災における災害対策用機械の活動状況

◆ 排水作業 3月13日～

排水ポンプ車 9台、照明車 5台



気仙沼市における排水作業状況



陸前高田市における排水作業状況



阿川沼(セヶ浜町)における排水作業



追波川排水機場(石巻市)における排水作業



北上川河口部(石巻市)における排水作業状況



東日本大震災における災害対策用機械の活動状況

◆ 排水作業 3月13日～



名取川(名取市)における排水作業状況



◆ 通信の確保 3月13日～

衛星通信車 1台



名取川(名取市)における衛星通信車稼働状況

名取川河口部における衛星通信車配信映像

Ku-SAT 1台



大槌町災害対策本部(中央公民館)におけるKu-sat設置稼働状況



◆ 避難所における夜間照明 3月18日～



南三陸町の避難所(平成の森総合運動公園)における照明車稼働状況



◆ 後方支援 3月12日～

災対本部車2台、待機支援車3台



待機支援車から調査機材の積下し



災対本部車を拡幅し作業場所確保

お知らせコーナー

今後の行事予定

日 時	区 分	行 事 名	内 容	備 考
平成23年 8月下旬～ 9月上旬	検定試験	建設機械施工技術検定（実地）試験 試験種別：1級 2級 会 場：西部開発多目的広場	試験種別：1級・2級（1種・2種・3種・4種） 試験会場：広島市西区扇2丁目1-1 西部開発多目的広場（商工センター）	申請者
平成23年 8月下旬 （広島地区） 10月下旬 （山陰地区）	講習会	情報化施工（体験セミナー）講習会 会 場：西部開発多目的広場（広島） （山陰地区は調整中） 定 数：各80名を予定	ICTを活用した新しい施工技術である「情報化施工」について「座学」と「実習」と組み合わせた「体験セミナー」で、「実習」では実際に情報化施工機器を搭載した「建設機械」を操作して、情報化施工の「メリット」を体験しその効果を確認出来る講習会。	会員及び一般
平成23年 9月下旬	研 習 会	第62回新技術活用現場研修会 場 所：調整中 定 数：40名（予定）	新技術を活用（導入）した工事現場等において、活用（導入）の経緯、効果、課題等について研修する。今回は62回目を数える。	会 員
平成23年 10月中旬	講習会	第29回新技術・新工法発表会 会 場：未定 定 数：100名（予定）	第29回を迎える「会員による『我が社の新技術・新工法』発表会」を開催する。発表課題は、「中国地方建設技術開発交流会」への推薦候補となり、新技術・新工法の将来への発展が見込まれる足がかりとなる発表会。会員あて発表課題の募集開始は7月頃を予定。	会員及び一般

◆新入会員の紹介

この度、当支部に新たに3社の新規入会がありましたので紹介します。

会 社 名	部 門	入 会 日	会 社 住 所
(株)福井コンピュータ広島営業所	団体・コンサルタント	H23.02.01	広島市南区的場町
(株)大広エンジニアリング	団体・コンサルタント	H23.04.01	広島市西区南観音
(株)建設システム	団体・コンサルタント	H23.06.01	静岡県富士市

◆新規発行図書の照会

(1)図書の名称：「建設機械等損料表（平成23年度版）」

国土交通省制定の「建設機械等損料算定表」に基づいて編集され、機械経費・機械損料に関する通達告示類を掲載し、損料積算例や損料表の構成・用語の解説をしたほか、各機械の燃料・電力消費量（率）に加え主要機械については写真・図等によりその概要を紹介し、さらに、当協会発行の「日本建設機械要覧」との関連ページを示すなど解りやすい内容で発刊しました。

◎定価：6,600円（会員） 7,700円（一般） 送料は別途（600円）

(2)図書の名称：「橋梁架設工事の積算（平成23年度版）」

国土交通省の「土木工事積算基準」が改正され平成23年4月以降の工事費の積算に適用されることに伴い、また近年の橋梁架設工事の状況、実績等を勘案し発刊しました。

また、橋梁の補修・補強工事の積算に際し、その適用範囲や積算手順を解りやすく説明した「橋梁補修補強工事積算の手引き（平成23年度版）」も別冊（セット）で発刊しました。

◎定価：7,140円（会員） 8,400円（一般） 送料は別途（600円）

この機会に是非1冊ご利用下さい。協会支部において販売しております。

編集後記

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日もはやい復旧・復興をお祈り申し上げます。

プロ野球が開幕して、皆様に勇気を与えてくれることと思います。思えば、平成7年の阪神淡路大震災の年は、地元神戸のオリックスが優勝し、昭和60年の日航機墜落事故（御巣鷹山）の年は、球団社長が犠牲になった阪神が優勝。今年は、是非とも東北楽天（パリーグ）に頑張ってもらって、更なる勇気を与えてもらいたい。

セリーグは、出足好調（交流戦では休憩したけど）で今年こそ本物のカープよ、ガンバレ！

平成22年6月発行

編集・発行（社）日本建設機械化協会中国支部機関誌編集委員会

〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 築地ビル402

TEL 082-221-6841

FAX 082-221-6831

<http://www.jcmanet.or.jp/chugoku/>

E-mail jcma-chugoku@mx41.tiki.ne.jp